

第13回 ふくやま子ども「生きる」美術展

「ふくやま子ども『生きる』美術展」は、子どもたちが絵画制作を通じて想像力や独創性を育み、たくましく『生きる力』を備えた人間に成長することを願って創設された絵画公募展です。

本展では、『生きる』というテーマのもとに、子どもたちが現在、過去、未来に想いをこめた作品が集まります。また合わせて書かれた作文は、絵画のイメージを更に膨らませた、同じ題材の中でもそれぞれの個性を光らせる大切な要素となっています。

今年度は、46校の小・中学校と個人から合計3,789点の作品が寄せられました。

そのうち、大賞・ふくやま美術館賞1点、大賞6点、優秀賞50点、奨励賞243点、合計300点が展示されます。さらに、表彰式では、受賞者57名に荒井良二氏オリジナルデザインのメダルが授与されるとともに、多くの優れた作品を輩出した学校に小林徳三郎賞（学校賞）も贈られます。子どもたちの考える、『生きる』を是非ご覧ください。



大賞《思い出の交差点》
岡田 秀幸（福山暁の星小学校6年）



大賞《ぼうえんきょうの中にスーパームーン》
渡邊 友惺（福山市立内海小学校4年）



大賞《ゴキブリとぼく》
天野 文也（福山市立樹徳小学校1年）



大賞《冷蔵庫のドアを開ける私》
村田 みか（福山市立新市中央中学校3年）



大賞《生きることは…》
内田 直希（福山暁の星小学校5年）



大賞《ほうきではいてピッカピカ》
森 悠之輔（福山市立手城小学校3年）

第13回 小林徳三郎賞（学校賞）

福山市立川口小学校 福山市立内海小学校
福山暁の星小学校 福山市立新市中央中学校

【同時開催中】

冬季所蔵品展

20世紀 二大革命 フォーヴィスムVSキュビスム

—色彩と形態の革新—

20世紀初頭、色彩と形態の革新を起こし、絵画表現を自由にしたフォーヴィスムとキュビスム。この二大革命を牽引したアンリ・マティスとパブロ・ピカソを出発点として、その影響を受けた日本人画家の作品までを展覧します。

会 期＝2022年3月27日(日)まで開催 観覧料＝一般310円、高校生以下無料



吉田卓《静物》1924年

【特別展予告】

アニメサザエさんとともに50年

—エイケン制作アニメーションの世界—

数々の名作を世に送り出してきたアニメスタジオ『エイケン』。中でも、アニメ「サザエさん」の制作は約50年の長きにわたって手がけてきました。本展では、エイケンのアニメ作品の中から、原画・セル画等の貴重な資料約400点を展示。エイケンによるアニメ制作の全貌を明らかにします。

会 期＝2022年1月29日(土)～3月27日(日) 観覧料＝一般1,000円、高校生以下無料



《サザエさん》©長谷川町子美術館



お問い合わせ

ふくやま美術館

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4番3号

Tel. 084-932-2345 Fax. 084-932-2347

Twitter: @fukuyama_bi

交通案内

・JR 福山駅北口から西へ 400m

・山陽自動車道 福山東インターから車で 20 分

駐車場 68 台

* 特別展・所蔵品展をご観覧のお客様は 1 時間無料



FUKUYAMA MUSEUM OF ART

ふくやま美術館

